

「攻勢的に構え準備進める」 解散報道受け 田村委員長

高市早苗首相が、通常国会の冒頭 23 日に衆議院解散を検討していると報じられました。「読売」は 10 日、衆院選の日程は「1 月 27 日公示—2 月 8 日投開票」「2 月 3 日公示—15 日投開票」の案が浮上していると報道。こうした報道について、首相官邸は 10 日、記者団の取材を拒否しました。

高市首相は、米国のベネズエラへの軍事行動に対し国連憲章違反、国際法違反との態度も表明できず、日中関係の悪化にも打開策を打ち出すことができていません。統一協会とのかかわりなどで新たな疑惑が取りざたされており、通常国会で追及を受けることになります。物価高対策でも有効な手段を打ち出せておらず、今後は支持率低下が予想されています。日本維新の会藤田文武共同代表は 10 日、金沢市で記者団に、首相からの連絡はないと説明。「解散は首相の専権事項だ。いつでも戦える準備はしておく」と述べました。また、総務省は



「読売報道」を受け、各都道府県選挙管理委員会に報道を周知する事務連絡を発出しました。

通常国会で冒頭解散の報道を受け、日本共産党の田村智子委員長は 10 日、党本部で記者会見し、「高市政権がうわべの支持率の高さに頼り、内政外交での行き詰まりを、反動的に打開する危険がある」と指摘。攻勢的な構えをつくり、準備を進めていく。国民の中に、新しい政治の展望を大いに訴えたいと表明しました。

（しんぶん赤旗 2026.1.11 号より）



戦争国家づくりストップ、憲法 9 条守れ

野党が共同街宣 本気の共闘で自民党政治終わらせよう

12/28 一宮市内で、日本共産党、立憲民主党、社会民主党、緑の党、新社会党が共同で街頭宣伝を行いました。れいわ新選組は、メッセージを寄せました。

日本共産党小池晃書記局長は、2026 年度予算で、過去最高の 9 兆円の軍事費が計上されるなど米国いいなりの大軍拡に突き進む政権を批判。愛知県は、敵基地攻撃能力のための戦闘機などを製造する拠点にされようとしていると告発し、「憲法を踏みにじる危険な政治を止め、行き詰まった自民党政治を終わらせていく 2026 年にしていこう。そのためには本気の共闘が必要だ」と呼びかけました。

2024 年 10 月 愛知 10 区で「市民と野党の共闘」で勝利した**立憲民主党の藤原のりまさ衆院議員**は「極右政権に対し、市民と野党も共闘で今こそ立ち上がらなければならない。そのことを共闘の在善戦から呼びかけたい」と力を込めました。**社民党愛知県連合のつかざきみお副代表**は、「子ども、若者の生活を支える政治を。排外主義と手を取りあってたたかおう」と訴え。**緑の党の尾形慶子共同代表**は、「高市政権に対し、リベラルの政党が共同しなければならない。愛知から左派連合をつくっていこう」と訴え。**新社会党愛知県本部の保田泉委員長**は高市政権を批判し「野党の仲間が力を合わせ嘘で固められた政治を変えよう」と強調。**れいわ新選組の辻恵愛知県総支部長**が「戦争を絶対に許さないために、共同のたたかいを全力でつくりだす」と**メッセージ**を寄せました。

愛知県議選にのぞむ、**日本共産党のかわえ明美予定候補**は「野党のみなさんと固く手を取りあい、平和を守るために一歩も引かない決意と覚悟で挑む」と語りました。
（「しんぶん赤旗」2025.12.29 号より）

12月議会 日本共産党市議団の反対討論 彦坂和子 閉会日（12/24）に行った反対討論の一部を紹介します。

●議案第 102 号 一宮市保育所条例の一部改正について

一宮市立大和北保育園、玉ノ井保育園を民間移管するため2園廃止し、2028年4月1日から私立保育園とするものです。

市は、2019年3月「一宮市保育所等施設総合管理計画」を策定。老朽化した園舎の施設整備で、民間による建て替えを規定。2020年8月「施設整備方針」で、木曽川地域の木造園舎（黒田北、里小牧、玉ノ井、黒田西）のうち、建築年度が最も古い2023年度末で黒田西保育園をまず廃園しました。

2023年8月「施設整備方針（第2次）」で、木造の3園と鉄骨造の2園（光明寺、大和北）の園舎を優先して進めるとして、2027年度から光明寺保育園、里小牧保育園を民間移管することを決定しました。

民営化の手法は2種類あります 「業務委託」は、設置者が自治体のまま、運営を民間事業者が行う。「民間移管」は、①設置者が行政から民間事業者へ変更、運営も民間事業者が行う。②保育士は公務員ではなく、民間事業者が雇う職員に変わる、③保育プログラムや給食内容が見直される場合がある などです。

★全国的に公立保育所の減少が進む

保育所総数に占める割合 2000年公立57%、私立43%

2019年公立35%、私立65%

公立保育所の減少は、廃止、民営化、認定こども園の設置数増加によるものです。



* 全国的な保育所の民営化に直接影響を与えたものは、2004年公立保育所の運営費の国庫負担の廃止と一般財源化、2006年公立保育施設の整備費の国庫補助金の一般財源化です。しかし、2015年党の国会議員団の質問で、総務大臣は「公立保育所の施設整備費と運営費については、市町村に影響を与えないようにしている」と答弁。

公立保育所への整備運営費について、国の財政支援はあると考えます。

★公立保育園の役割、保育に対する市の責任は大きい

児童福祉法第1条「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、その心身の健やかな成長及び発達を等しく保障される権利を有する」と定めています。丁寧な支援、家庭的な配慮、アレルギー対応の配慮など、どの子どもたちの育ちを保障する保育には、公的責任が求められます。



* 大切な大和北保育園、玉ノ井保育園 2つの公立保育園を廃止する議案は認められません。老朽化した公立保育園の建替えについて、民間移管でなく公立保育園として整備することを望みます。

●議案第 116 号一宮市立光明寺保育園、117 号 一宮市立里小牧保育園の普通財産（建物）の無償譲渡を行うものです。

無償譲渡の理由は、老朽化した園舎の解体、建替を条件とした民間移管を行うことで、解体費用が軽減できるためです。

2園は、公の施設としては、2027年3月31日廃止となります。

* 光明寺保育園と里小牧保育園の公立保育園を民間移管するために、市の大切な公有財産を無償譲渡することは認められません。

これ以上の民間移管を進めることはやめ、公立保育園の存続を求めます。

市は「一宮市保育所等施設総合管理計画」、
「民間活力の活用」の方針で、公立保育園を廃止して、民間移管を進めてきました。

53園（2018, 4, 1）⇒ 48園（2028, 4, 1）

★木曽川地域

黒田西保育園⇒社会福祉法人が運営

里小牧保育園⇒学校法人が運営

玉ノ井保育園⇒株式会社が運営予定

★一宮地域

光明寺保育園⇒学校法人が運営

大和北保育園⇒株式会社が運営予定

